

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 富士会)

事業所名 (ヴィラトピア知立)

サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗サポートロボット		ハグ	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年10月 2日	1	平成30年10月 2日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>10月に導入されたロボットについて、まずは全介護職員に事故の無い誘導、操作ができるようPTによる指導の下、各職員同士でいろいろな場面を想定し体験をしてもらい、かつ、理解ができるご利用者へも体験して頂き、今後の本格導入を検討。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>各職員、最低3名の職員同士で体験を行い、体験毎の感想、事前準備、移乗、ロボット操作の項目に対しチェック表を作成、具体的にどのような方に使用できるかを検証、ご利用者数名をピックアップし、どの場面において使用して頂くことが介護職員の負担軽減に繋がるかを検討中。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人なごや福祉施設協会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム なごやかハウス滝ノ水)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
装着型介護ロボット (移乗・排泄・入浴)		HAL 介護支援用(腰タイプ) CB-2	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年11月1日	4台	平成30年11月1日	平成30年11月1日から 令和5年10月31日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>○職員が単身で多数のご利用者のケアを行う夜勤帯において主に使用している。 →ベッド上の排泄介助や体位交換等「中腰」で行うケアは腰部への負担が大きく、腰痛へと繋がるリスクが大きいため。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>○HAL を使用した日は特に腰痛がない。 ○HAL を使用していない日勤帯(特に一日中入浴介助業務を行った日)では疲労感を感じるが、HAL を使用している夜勤帯ではさほど疲労感を感じない。</p> <p>職員アンケートの結果 対象者 介護職員 24名 調査内容 現在の身体状況や業務への影響について</p> <p>1 退勤時の腰痛について 「痛みがない」を0、「痛みが強い」を5とし、導入時と導入3ヶ月後を比較し、数値化し調査した。 結果 導入時 2.2ポイント→導入3ヶ月後 1.9ポイント 痛みは緩和されている。</p> <p>2 退勤時の身体的疲労感について 「疲労を感じない」を0、「疲労を感じる」を5とし、導入時と導入3ヶ月後を比較し、数値化し調査した。 結果 導入時 3ポイント→導入3ヶ月後 2.7ポイント 疲労は緩和されている。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書（その1）

法人名 （社会福祉法人カリヨン福祉会 ）
 事業所名 （特別養護老人ホームカリヨンの郷）
 サービス種別 （介護老人福祉施設 ）

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介護		離床アシストロボット リショーンネ Plus	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 30 年 10 月 26 日	1 台	平成 30 年 10 月 26 日	年 月 日から 年 月 日まで
【介護ロボットの使用状況】			
<p>体格が大きいため、ベッドから車いすへの移乗時に職員が2名以上で抱え上げる必要があった利用者に対して使用した。</p>			
【介護ロボットの導入効果】			
<p>当該ベッド利用者について、介護職員が1人介助でも抱え上げずにベッドから車いすに移乗させることができ、腰への負担が軽減された。特に夜勤時間帯など職員数が少ない時間帯の離床負担軽減につながった。</p> <p>※夜勤を行う職員 10 名に対する聞き取り結果は下記のとおり。</p> <p>①負担軽減につながった 7 名 ②変わらない 2 名 ③負担が重くなった 1 名</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人 鉄友会)
 事業所名 (介護老人保健施設さくら大樹)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助		介護用 マッスルスーツ	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
30年9月25日	3	30年9月12日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・納入時、職員に対し説明会及び体験会を実施。 介護職員だけでなく、リハビリ士、ケアマネも参加 ・各フロアで気軽に職員が使用できるようオープンスペースに保管し、主に排せつ介助時やオムツ交換時に使用。 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員より体重の重い重介護者の移乗、トイレ介助を行い、前のめり姿勢や中腰の姿勢に対し、ロボットが腰の動きをアシストし、かなり腰部に係る負担が軽減されることを実感している。職員からは業務後、ロボットを外すと今まで自分の体が支えられていたことがわかるとの感想があった ・就職フェアで、職員の腰痛予防の対策として介護ロボット使用していることを紹介。介護ロボットを活用し職員の安全衛生面の重視、最先端の取り組みを行っていることのアピールができた 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人 鉄友会)

事業所名 (介護老人保健施設さくらの里)

サービス種別 (介護老人保健施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助		介護用 マッスルスーツ	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
30年9月25日	3	30年 9月 12日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・納入時、職員に対し説明会及び体験会を実施。 介護職員だけでなく、リハビリ士、ケアマネも参加 ・各フロアで気軽に職員が使用できるようオープンスペースに保管し、主に排せつ介助時やオムツ交換時に使用。 ・当施設が外部で実施する介護フェアに持参し、参加者（一般市民）に対して体験会を実施した 			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員より体重の重い重介護者の移乗、トイレ介助を行い、前のめり姿勢や中腰の姿勢に対し、ロボットが腰の動きをアシストし、かなり腰部に係る負担が軽減されることを実感している。職員からは業務後、ロボットを外すと今まで自分の体が支えられていたことがわかるとの感想があった ・就職フェアや介護フェアなどで、職員の腰痛予防の対策として介護ロボット使用していることを紹介。介護ロボットを活用し職員の安全衛生面の重視、最先端の取り組みを行っていることのアピールができた 			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (さくら福祉事業会)

事業所名 (特別養護老人ホームさくらレジデンス)

サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗介助		介護用 マッスルスーツ	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
30年9月25日	1	30年9月12日	年 月 日から 年 月 日まで

【介護ロボットの使用状況】

- ・納入時、職員に対し説明会及び体験会を実施。
介護職員だけでなく、リハビリ士、ケアマネも参加
- ・各フロアで気軽に職員が使用できるようオープンスペースに保管し、主に排せつ介助時やオムツ交換時に使用。

【介護ロボットの導入効果】

- ・職員より体重の重い重介護者の移乗、トイレ介助を行い、前のめり姿勢や中腰の姿勢に対し、ロボットが腰の動きをアシストし、かなり腰部に係る負担が軽減されることを実感している。職員からは業務後、ロボットを外すと今まで自分の体が支えられていたことがわかるとの感想があった
- ・就職フェアで、職員の腰痛予防の対策として介護ロボット使用していることを紹介。介護ロボットを活用し職員の安全衛生面の重視、最先端の取り組みを行っていることのアピールができた

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人恩賜財団愛知県同胞援護会)
 事業所名 (特別養護老人ホーム春緑苑)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
移乗支援ロボット		離床アシストロボット リショナー Plus (型番: XPN-S10601) パナソニックエイジフリー株式会社	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成30年10月29日	1台	平成30年10月29日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>日中、夜間を通して使用。 対象者は虚弱者や急性期患者、身体的な理由における移乗困難者などに設定。 日中は食事や水分摂取時にリクライニング車椅子として使用し、特定の臥床時間はベッドとして利用中。 主な臥床のタイミングは夜間帯及び午前10:00~11:30、午後15:30~17:00の日に3回の他、体調や体力に合わせてこまめに時間を設けている。</p>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>現在、リショナーを使用してる利用者は大柄な体躯をしており、移乗の際は2人介護が必須であったが、リショナー導入後は介護者1人での対応が可能になった。 一日平均6回程度の移乗業務が見直されることで、別業務に当てるマンパワーの確保に繋がり、職員と利用者の双方の負担が軽減された。また、同時に事故リスクも低くなったと思われる。 施設にて作成したマニュアルに沿って安全に使用できており、職員からも「使いやすい」「便利」などの高評価を得られている。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。